

特集

# 社会人の学び直しDX化 ～大学でのリカレント教育の積極化とオンライン化～

新型コロナ禍時代において、Society5.0社会の到来を見据え、世界では新たな経済成長に向けた人材の学び直しが急伸している。社会の変化に対応し、一人ひとりが新しい価値創出に向け、生涯を再設計する能力とスキルを学ぶリカレント教育は、労働生産性を高める国の成長戦略として捉えられ、国際競争力を左右する一つの指標ともなりつつある。DX（デジタルトランスフォーメーション）が加速するなか、成長分野を支え生産性向上に必須の情報技術、知的財産、介護、地域創生などのキャリアアップの再教育が喫緊の課題となっている。経済協力開発機構（OECD）の中でも、25歳以上の大学入学は各国平均で18.1%に対し、日本の学士課程入学者は1.9%と加盟國中下から2番目に低い水準と、かなり出遅れている。

日本政府でも来年度から新制度でリカレント教育に国費を投じて、高等教育機関の積極的な参加を要請することになった。しかしながら、費用負担、時間的制約、通学による学修形態、有益な教育プログラムの提供など課題も多い。そのような中、大学教育の遠隔・オンライン授業の体験を通じて、通学と通信のハイブリッド型のリカレント教育に対する期待は高くなっている。大学にとっても新たな経営資源、知的資源を得る可能性に期待が持てることから、社会人の学び直しを大学の機能として定着できるよう、国の政策動向と先導的に試みている大学に取組みの工夫・課題をたずねてみた。

## ポストコロナに向けた 大学リカレント教育の役割と国の支援



文部科学省総合教育政策局 生涯学習推進課課長補佐 香西 健次

### 1. はじめに

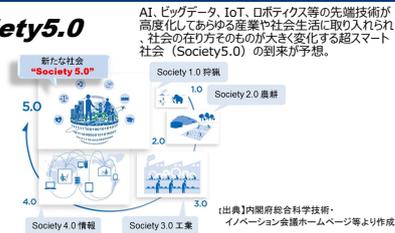
近年の我が国におけるリカレント教育については、平成29年に行われた「人生100年時代構想会議」に端を発しています。

これまでの教育・雇用・退職後の3ステージのモデルから多様な人生を歩むマルチステージに移行する人生100年時代の到来、AIやIoTの発展に伴うサイバー空間・フィジカル空間の高度な融合

による経済発展と社会的課題の解決を両立するSociety5.0の到来、新型コロナウイルス感染症拡大による新たな働き方や生活様式が求められる社会の大きな変化に対応するため、一人ひとりが人生を再設計し、社会人が学びを通じて、キャリアアップやキャリアチェンジが可能となるような能力・スキルを身に付けていくことがより一層重要になっています。

### 2040年頃の社会の姿

#### Society5.0



#### 人生100年時代

2007年生まれの子ども50%が到達すると期待される年齢

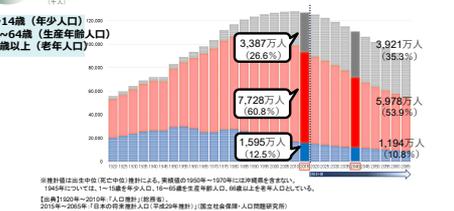


#### グローバル化

在留外国人数、海外在留邦人数ともに増。社会のあらゆる分野でのつながりが国境を越えて活性化。



#### 人口減少



### 2. リカレント教育の現状と課題

このようにリカレント教育の重要性と、それを通じて学び直した人材の活躍への期待はますます高まっていますが、残念なことに、未だ我が国におけるリカレント教育は十分に広まっているとは言

えない現状があります。

この背景について、社会人が大学などで学び直しを行うに当たっては、

- ・休日や夜間などの開講時間の配慮
- ・学費の負担に対する経済的な支援の問題
- ・社会人のニーズにあった実践的なリカレントプログラムの充実
- ・学習に関する情報を得る機会の拡充
- ・企業等の評価や支援環境等の課題があげられているほか、雇用体系や労働市場に課題があると認識しています。

## リカレント教育の充実に関する関係省庁の施策

関係省庁の役割分担の下、各施策を有機的に連携・充実し、個人のキャリアアップ・キャリアチェンジ、企業の競争力向上に資するリカレントプログラムの開発・展開を促進。

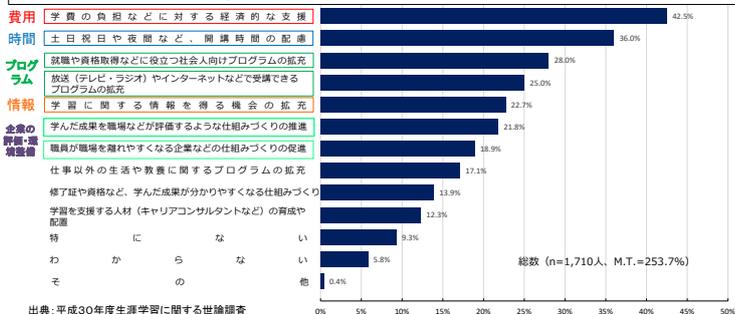
<b>労働者・求職者の職業能力開発、環境整備のための支援</b> <b>厚生労働省</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人ひとりのライフスタイルに応じたキャリア選択の支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアコンサルティングの充実（「セルフ・キャリアドック」導入支援等）</li> </ul> </li> <li>● 労働者・求職者のリカレント教育機会の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT理解・活用力習得のための職業訓練の開発・実施</li> <li>・雇用保険に加入できない短時間労働者等への職業訓練コースの充実、訓練時間の下限見直し</li> <li>・企業がeラーニングを活用して従業員に対して行う教育訓練への助成</li> <li>・教育訓練給付の拡充（専門実践教育訓練給付の対象講座拡大、特定一般教育訓練についての指定基準の創設）</li> <li>・教育訓練の指導人材の育成</li> </ul> </li> <li>● 学び直しに資する環境の更なる整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期の教育訓練休暇制度を導入した企業への助成</li> <li>・新規かつ実践的で雇用対策として効果的で必要性の高い教育訓練プログラムの開発 等</li> </ul> </li> <li>● 転職が不利にならない柔軟な労働市場や企業慣行の確立                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「年齢にかかわらず転職・再就職の受入れ促進のための指針」策定</li> </ul> </li> </ul>	<b>我が国の競争力強化に向けた環境・機運の醸成</b> <b>経済産業省</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 価値創出の源泉である人材力の強化・最適活用の実現                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人生100年時代の社会人基礎力」の策定</li> <li>・中小企業における海外展開を担う人材の育成を支援</li> <li>・社会課題の解決を通じた実践的能力開発プログラムの開発</li> </ul> </li> <li>● IT・IT活用分野の拡充支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・IT人材育成・スキル転換促進（第四次産業革命スキル習得講座認定制度の大目認定講座数の拡充）</li> <li>・ITスキル評価のための国家試験の実施 等</li> </ul> </li> </ul>
	<b>大学・専門学校等を活用したリカレント教育プログラムの充実</b> <b>文部科学省</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学等の教育機関における「リカレントプログラム」の拡充に向けた支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携による実践的なプログラム開発支援（短期、オンライン含む）</li> <li>・実務家教員やリカレント教育推進のための専門人材の育成</li> <li>・実践的短期プログラムに対する大目認定の促進（職業実践力育成プログラム（BP）、キャリア形成促進プログラム）等</li> </ul> </li> <li>● リカレント教育推進のための学習基盤の整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のキャリアアップに向けた学び直しとキャリア形成の一体的支援</li> <li>・社会人向け講座情報へのアクセス改善 等</li> </ul> </li> </ul>

### 社会人の課題を解決

社会人が大学などで学習しやすくするために必要な取組としては、  
**①費用の支援、②時間の配慮、③仕事に役立つプログラムの拡充、④情報を得る機会の拡充、⑤企業の評価・環境整備が上位。**

#### ○ 学びやすくするための取組

問 社会人が大学などで学習しやすくするために、どのような取組が必要だと思いますか。この中からいくつもあげてください。（複数回答）



### 3. 政府におけるリカレント教育の取組み

このような課題に対応し、リカレント教育のさらなる充実を図るため、政府全体として主に3省庁が連携しながら取組んでいます。

厚生労働省は、労働者・求職者の職業能力開発の観点から、職業訓練や教育訓練給付制度、企業の行う研修への支援を担当し、経済産業省は、国の競争力強化の観点から、IT人材の育成などを担当し

ています。これに対し、文部科学省では、大学や専門学校等における教育プログラムの充実の観点から、産学連携による実践的なプログラムの開発支援等に取組んでいます。

### 4. 文部科学省におけるリカレント教育の取組み

文部科学省では、予算事業として、大学・専門学校等における実践的なプログラムの開発・拡充や、リカレント教育を支える専門人材の育成、リカレント教育推進のための学習基盤の整備などに取組んでいます。

### リカレント教育等社会人の学び直しの総合的な充実

人生100年時代や技術革新の進展等を見据え、社会のニーズに対応したリカレント教育の基盤整備や産学連携による実践的なプログラムの拡充等による出口一類型リカレント教育を推進することにより、誰もがくつになっても新たなチャレンジができる社会を構築する。

#### 大学・専門学校等を活用した社会人向けの実践的なプログラムの開発・拡充

**Society5.0を見据えた人材育成**

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 価値創造人材の育成 （大学等における価値創造人材育成拠点の形成：97百万円（新規）） 「成長戦略実行計画」や「骨太の方針」で実施が求められている創造的な発想をビジネスにつなぐ教育プログラムの開発及び拠点の形成</li> <li>○ 専修学校リカレント教育プログラムの開発 （専修学校リカレント教育推進プロジェクト：269百万円（425百万円）） ・短期の学びを中心に、分野を超えたリカレント教育プログラムの開発 ・産学連携によるリスタートプログラムの開発・実証 等</li> <li>○ 就職・転職支援のための大学における教育プログラムの開発・実施 （就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業：1,280百万円（R2補正）） ・非正規雇用労働者・失業者、希望する就職ができない若者等への支援として、大学等において即効性が高い教育プログラムを提供することを通じて円滑な就職・転職を促進。</li> <li>○ 産学官連携による地元定着のための教育プログラムの実施 （大学による地方創生人材育成プログラム構築事業：226百万円（254百万円）） ・産学官が連携し、地域が求める人材を養成するための教育改革を実施するとともに、出口（就職先）と一体となった教育プログラムを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送大学の充実 （放送大学学習補助金：7,386百万円（7,386百万円）） ・数理・データサイエンス・AI教育に関するコンテンツの制作</li> <li>○ 産学連携による情報技術人材等の育成 （成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPIT-Pro）：110百万円（289百万円）） （超スマート社会の実現に向けたデータサイエンス教育事業：175百万円（234百万円）） ・産学連携による実践的な教育ネットワークの形成 ・セキゴリア等のIT技術者のスキルアップ・スキルチェンジのためのリカレントプログラムの開発・実施</li> <li>○ 教職に関するリカレント教育プログラムの実施 （学校教育における外部人材の活用推進事業：67百万円の内数（31百万円（R1補正）111百万円）） ・令和元年度補正予算により開発・実施している就職氷河期世代のうち教員免許状を持つものの教職への道を諦めざるを得なかった者等を対象としたリカレント教育プログラムを継続的に実施。</li> </ul>
--	--

※このほか、社会人の組織的な受入れを促進する大学等への経常費補助、職業実践的な教育を行う「専門職大学」等の制度化（平成31年4月施行）を実施。

#### リカレント教育を支える専門人材の育成

- 実務家教員の育成  
（特種な産学共同人材育成システム構築事業：250百万円（280百万円））  
・社会人の学び直しを含む実践的な教育を支える実務家教員を育成・活用するシステム構築
- ☆ 大学・専修学校の実践的短期プログラムに対する文部科学大臣認定の充実  
 ・大学・専修学校職業実践力育成プログラム（BP）及び「キャリア形成促進プログラム」  
 ※ 受講者の学習機会の拡充や学習意欲の醸成につながるよう、認定講座をさらに充実。  
 令和2年5月時点：B P 282講座、キャリア形成促進プログラム19講座

#### リカレント教育推進のための学習基盤の整備

- 女性のキャリアアップ等  
（女性の多様なチャレンジに寄り添う社会と社会参画推進事業：24百万円（34百万円））  
・女性のキャリアアップ・キャリアチェンジに向けた学び直しやキャリア形成等の総合的支援
- 社会人向け情報アクセスの改善  
（社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実証研究：17百万円（17百万円））  
・講座情報、各種支援制度等々効果的にアクセスできる情報発信ポータルサイトの充実・実証研究
- リカレント講座の運営モデルの構築  
（大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデルの構築：24百万円（16百万円））  
・大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデルにおける実証研究

### (1) 就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業

具体的なプログラム開発の事業として、令和3年度より実施している「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」について紹介します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用構造の転換が進展する中で、新たな能力を身に付け、自己のキャリアアップに繋げるための失業者や非正規雇用労働者等への支援が重要です。

このため、非正規雇用労働者・失業者等に対し、

デジタル分野を中心に大学においてハローワーク等と連携し、即効性があり、かつ質の高いリカレントプログラムを実施し、受講者の円滑な就職・転職に繋げるための事業を実施することとしました。

今年度は、22都道府県、40大学63プログラムを採択したところです。その内容は、デジタル、医療・介護、地方創生、女性活躍など多岐にわたっており、各大学において順次プログラムを実施しております。

本事業は受講料が無料となっているほか、厚生労働省と連携して、要件を満たす受講生は、職業訓練受講給付金（月10万円の生活支援の給付金）を受給しながら、受講できる仕組みとなっています。

#### 就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業

令和2年度第3次補正予算額 13億円



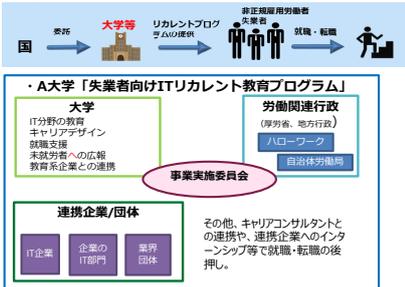
##### 背景・必要性

新型コロナウイルス感染症の影響により、非正規雇用労働者等を中心に失業者が約209万人に拡大。解雇等見込み労働者数も約10万人。このため、文部科学省と厚生労働省、経済産業省が連携し、大学等において非正規雇用労働者や失業者等を対象に、デジタル人材等成長分野の人材育成から就職支援等を一体的に推進し、受講生のキャリアアップに繋げる。

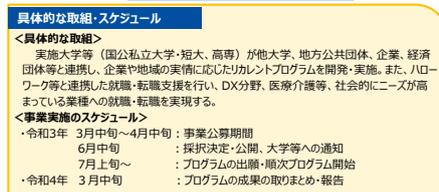
##### 事業内容・事業実施イメージ

非正規雇用労働者、失業者、希望する就職ができていない若者等の支援として、全国の大学等を中心とした連携体制において、即効性があり、かつ質の高いリカレントプログラムの開発・開発を行い、オンラインと対面を組み合わせた集中的に提供する体制を整えることにより、全国のリカレント教育のニーズに応え、受講生の円滑な就職・転職を促す。

令和3年度事業実施大学：22都道府県・40大学・63プログラム  
(主な分野：デジタル、医療・介護、地方創生、女性活躍等)



##### 本事業の文部科学省、厚生労働省、経済産業省の連携イメージ



### (2) 職業実践力育成プログラム (BP)

予算事業以外では、社会人や企業等が実践的・専門的な教育プログラムを文部科学大臣が認定する「職業実践力育成プログラム」(BP)に取り組んでいます。

平成27年度の開始以来、毎年30~50件程度の新規の認定を行

## 「職業実践力育成プログラム」(BP) 認定制度

大学が、**社会人や企業・自治体等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラム**を開発し、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会を拡大するため、産官学が連携し一定の要件を備えたプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定

**【認定要件】**

- 大学等の**正規課程及び履修証明プログラム**（時間数「60時間」以上）
- **対象とする職業の種類及び修得可能な能力を具体的かつ明確に設定し、公表**
- **総授業時数の一定以上（5割以上を目安）**を、以下の2つ以上の教育方法による授業で実施
 

- ①**実務家教員（概ね5年以上の経験者）等による授業**
  - ②**双方若しくは多方向に行われる討論（PBL、ワークショップ等）**
  - ③**実地での体験活動（インターンシップ、留学、現地調査等）**
  - ④**企業等と連携した授業（企業等とのフィールドワーク等）**
- **教育課程の編成及び自己点検・評価において、組織的に関連分野の企業等の意見を取り入れる仕組み**
- **社会人が受講しやすい工夫**の整備（週末開講・夜間開講、集中開講、オンライン授業、遠隔授業、IT活用等）



認定課程数：**314課程**（令和3年3月）、講座情報等は「**マナパス（学びのパスポート）**」に掲載

①**社会人の学び直す選択肢の可視化**、②**大学等におけるプログラムの魅力向上**、③**企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携**して、社会人の学び直しを推進。

## BPの新たなテーマについて

### 現在のテーマ(平成27年度認定～)

平成27年度にBPの認定制度が始まってから5年間、現状は以下の4テーマを設定。一方で、新型コロナウイルス感染症による社会変化や、AI戦略にも記載されているデジタル人材のニーズの高まり等への対応が必要となっている。このような状況を踏まえ、令和3年度の公募からはこれまでの4テーマに新たなテーマを追加することとする。

	テーマ	件数(※1)
1	女性活躍	70
2	非正規労働者のキャリアアップ	22
3	中小企業活性化	62
4	地方創生(地域活性化)	75

※1 1つのプログラムで複数テーマを設定している場合有

4テーマから10テーマに!

### 新たなテーマ(令和3年度認定～)

新たなテーマを追加した場合、現在の認定されているプログラム(314件)についても、追加となったテーマへの該当について確認を実施する予定。

	テーマ	件数(※2)	備考
1	女性活躍	70	現在のテーマから引き続き
2	中小企業活性化	62	現在のテーマから引き続き
3	地方創生(地域活性化)	75	現在のテーマから引き続き
4	DX(AI・IoT等)	17	
5	環境保全(カーボンニュートラル等)	6	
6	就労支援	30	現在のテーマ「非正規労働者のキャリアアップ」から変更
7	医療・介護	121	
8	ビジネス等(経済・政治等)	37	
9	起業(アントレプレナーシップ)	11	
10	防災・危機管理	7	

※2 新たなテーマの件数はプログラム概要等からキーワード検索により抽出

っており、現在314課程を認定しています。実務家教員による授業や、企業等と連携した授業、インターシップの実施などを要件としており、BP認定されると、厚生労働省の教育訓練給付制度の対象となり、受講生の負担軽減となるメリットもあります。

テーマについては、これまで女性活躍、非正規労働者のキャリアアップ、中小企業活性化、地方創生(地域活性化)の4テーマを設定しておりましたが、昨今の社会の変化に合わせ、令和3年度の認定より、DX(AI・IoT等)や医療・介護などを追加し、新たに10テーマを設定したところ

や専門学校等の教育機関の方は無料で社会人向けの講座情報を掲載いただくことができますので、ぜひご検討ください。

## 社会人等の学び直し情報発信ポータルサイト「マナパス」

### マナパスに掲載している情報

- ・令和2年度よりサイトの本格運営を開始し、**1日あたりのPV数は2,000程度**(令和3年1月時点)。
- ・大学(学部・研究科等)の**マナパスに対する認知度は49.9%**(令和2年12月調査、有効回答数2,652件)
- ・Yahoo!パナー広告やテレビ番組、ラジオ番組等でも紹介!マイページ機能も近日実装!



#### <講座検索>

大学・専門学校の社会人向けプログラムを中心に約4,000の講座を掲載!!「オンライン」「費用支援」等希望に沿った条件検索も可能!!

#### <特集ページ>

「地方創生」「就職氷河期」「経済的支援」「女性の学び」等社会的にホットなテーマと学びを掛け合わせて紹介!!

#### <ランキング機能>

ビジネスや健康福祉、情報といった分野別のアクセスランキングを日々更新中!!

#### <動画紹介>

社会人の学びに対する教育界・産業界からのメッセージや、大学・専門学校の学習事例を紹介!!

#### <学びのガイド機能>

検索タグで性別・年代・問題意識に合わせた学びのモデル検索(インタビュー)や実践的、経済的支援のあるプログラムの検索が可能!!

#### <いいね機能>

ユーザーから関心の高い講座が一目でわかるように、「いいね機能」を搭載!!

### (3) 社会人の学びに関する総合的なポータルサイト「マナパス」

最後に、情報発信の取組みについて紹介します。リカレント教育に関する課題のうち、学習に関する情報が不足しているという課題に対応するため、令和元年度より総合的なポータルサイト「マナパス」(https://manapass.jp/)を運営しています。現在、大学、専門学校合計約5,000以上の講座

### 5. おわりに

大学等のリカレント教育は、政府や産業界からも大きな期待が寄せられています。文部科学省としても、予算事業等を通じてリカレント教育の一層の推進に取り組んで参ります。各大学におかれても、社会の変化に対応できる人材育成に資するリカレント教育のさらなる充実に向けて、具体的な取組みが進んでいくことを期待しています。